

奈良県児童虐待防止啓発方策検討事業報告書

—若者を対象とした児童虐待防止啓発事業—

高校・大学生を中心として

2012年3月

奈良県

奈良県児童虐待防止啓発方策検討事業報告書概要

本事業は、平成 22 年 3 月に県内で発生した死亡事例をうけて設置した「奈良県児童虐待対策検討会」からの提言を受け、次代の親となる若者層に啓発を実施していくための有効な手法の調査・開発を実施するものである。

I. 目的

1. 意識調査
高校生・大学生の児童虐待への認識や理解度、オレンジリボン運動の認知度について実態把握をする。また、奈良県が昨年度、大学祭で実施したオレンジリボンキャンペーンについての効果検証を兼ねる。
2. 自治体調査
西日本地域の 100 の自治体を対象に、アンケート調査を実施。各自治体のオレンジリボン運動の取組や、啓発活動を把握する。
3. オレンジリボン運動の有効性
マーケティングの手法を用いて、オレンジリボン運動を定着させ、オレンジリボン運動を有効に児童虐待防止へ役立てるための実験をする。

II. 結果

1. 意識調査
 - ①「虐待」という言葉は 9 割が高校、大学生ともに理解していた
 - ②通告の認知度は低かった
 - ③オレンジリボンへの認知度は低かった
 - ④ネグレクトについての理解・意識は低かった
2. 自治体調査
 - ①どのような取組をしていたのか整理した
 - ②予算の有無による啓発活動の取組の差について
 - ③パンフレット等の啓発ツールにおいては、子ども向けよりもほとんどが大人の市民向けの内容で配布されていた。
 - ④子どもを対象にオレンジリボン運動を実施している自治体は少なかった。
3. オレンジリボンの有効性
 - ①AIDMA（アイドマ）と呼ばれる消費者が購買に至るまでの行動プロセスを採用した。
 - ②大学祭を利用して調査を実施。
大学祭当日に来場者や学生スタッフにオレンジリボンを手渡し、4 時間経ってから対象者がまだオレンジリボンをつけているかどうかを調査した。さらに 1 ヶ月後、調査対象の大学在籍の学生を対象にオレンジリボンへの認識度を調査した。
 - ③大学祭当日、リボンをつけていた対象者の割合は約 7 割。1 ヶ月後の調査では、424 人を対象に調査を実施。うち大学祭参加学生は、351 名。大学祭前にオレンジリボンを知っていたのが 176 名、知らなかったのが 174 名であった。

- ④結果として、大学祭前にオレンジリボンを知らなかった学生がオレンジリボンをつけて理解した者が 91%であった。大学祭前にオレンジリボンを知っていてつけた学生に比べ、理解度が高かった。新しい知識として理解した学生の方が、理解度が高く、そのうち、9割が今後オレンジリボン運動を応援すると回答した。
- ⑤以上から、オレンジリボン運動に学生が参加することの意義が見出せた。

Ⅲ 啓発ツールについて

- ・ 高校・大学生向けパンフレット
- ・ 教員のための解説書

奈良県児童虐待防止啓発方策検討事業

目次

I	目的	1
II	方法	1
III	結果	2
	1. 児童虐待認識度調査について	2
	(1) 児童虐待の認知	2
	① 「児童虐待」という言葉の認知状況	2
	② 「児童虐待」という言葉の認知経路	3
	③ 児童虐待問題の内容認知状況	3
	④ 児童虐待問題の関心	4
	⑤ 児童虐待通告義務の認知	4
	⑥ 通告先の認知	4
	⑦ 自分の身の回りで「児童虐待かも」と感じた経験	4
	まとめ	5
	⑧ オレンジリボン運動について	5
	⑨ オレンジリボン運動の認知経路	6
	⑩ オレンジリボン啓発のための有効な方法	6
	まとめ	7
	(2) 児童虐待の内容理解	7
	① 叩くことへの認識	7
	② 若年の親の児童虐待の原因	8
	(3) 例題からの虐待理解	9
	まとめ	12
	(4) 親になるまでの準備	13
	1. 児童虐待認識度調査の結論	15
	2. 自治体を対象とした啓発事業調査について	16
	(1) 市回答	16
	1. 小・中学生への啓発	16
	① 啓発の実施について	16
	② 小・中学生への啓発の内容	17
	③ 小・中学生への啓発事業の予算	17
	2. 高校・大学生への啓発	19
	① 啓発の実施について	19
	② 高校・大学生への啓発の内容	19
	③ 高校・大学生への啓発事業の予算	19
	3. 市民への啓発	21
	① 啓発の実施について	21
	② 市民への啓発の内容	21
	③ 市民への啓発事業の予算	22

④ 関係機関との協力	22
⑤ 協力機関について	22
⑥ オレンジリボン活動について	23
⑦ オレンジリボン活動と児童虐待防止啓発活動について	23
4. まとめ	26
(2) 府県・政令市回答	27
1. 小・中学生への啓発	27
① 啓発の実施について	27
② 小・中学生への啓発の内容	27
③ 小・中学生への啓発事業の予算	27
2. 高校・大学生への啓発	28
① 啓発の実施について	28
② 高校・大学生への啓発の内容	29
③ 高校・大学生への啓発事業の予算	29
3. 市民への啓発	30
① 啓発の実施について	30
② 市民への啓発の内容	30
③ 市民への啓発事業の予算	30
④ 関係機関との協力	31
⑤ 協力機関について	31
⑥ オレンジリボン活動について	32
⑦ オレンジリボン活動と児童虐待防止啓発活動について	32
4. 府県・政令市のまとめ	33
2. 自治体を対象とした啓発事業調査の結論	33
3. オレンジリボン運動の実際的な効果と啓発の試み	34
1. 目的	34
2. 方法	34
3. 手順	34
4. 結果	35
3. オレンジリボン運動の実際的な効果と啓発の試みの結論	41
4. 児童虐待防止啓発ツールについて	42
1. 高校・大学生のためのパンフレット	42
2. 教員のための解説書	47
3. 学園祭などでオレンジリボン運動を実施する方法	56
4. まとめ	57
資料	58